

「規制・制度改革に関する分科会」の当面の進め方について

- 規制・制度改革は、これまでの社会経済システムを変革し、新たなフロンティアを開拓する重要な取組であり、「規制・制度改革に関する分科会」（以下、「分科会」という。）において、更に検討を進める。
- 検討に当たっては、東日本大震災後の新たな社会経済を構築し、震災以前よりも力強い新しい日本を再生するとの視点を重視する。
- 分科会において、社会経済活動と規制・制度の在り方について、例えば、規制と自己責任のバランスなど、まず大局的、基本的な議論を行い、改革の対象とする分野や切り口、改革を進める仕組みを検討する。その結果を踏まえ、必要に応じて分科会の下にワーキンググループを設置し、より具体的な改革事項を検討する。
- 検討に当たっては、現場のニーズや「国民の声」に寄せられた提案も参考にする。
- 平成24年春を目途に、結果の取りまとめを行う。